

## 令和5年 第4回 仙北市議会 定例会 予算常任委員会

### 【通告要旨】 議案第88号 令和5年度仙北市一般会計補正予算(第8号)

通告者 15番 高久昭二 委員

1 歳出3款1項3目 老人福祉費

- (1) 高齢難聴者補聴器購入費助成事業費 15万円での件数および補聴器を希望する方はまだいるのではないか。今年度中の予算増額は考えてないか。
- (2) これまでの補助対象者の障害手帳保有状況について。

2 歳出6款1項3目 農業振興費

- (1) グリーンツーリズム推進事業費 10万9千円内の旅費の内容について。
- (2) 低コスト技術等導入支援事業費補助金 547万5千円の内容および対象農家(ファーム)について

3 歳出8款2項1目 道路橋りょう総務費

- (1) 雪寒地域建設機械整備費 △6,666万円について。

4 歳出8款2項3目 道路新設改良費

- (1) 社会資本整備総合交付金事業費 △1億456万3千円について。

通告者 7番 高橋輝彦 委員

- 1 歳出8款2項1目 雪寒地域建設機械整備費 △6,666万円について、除雪ローダーの購入は令和元年度から当初予算に計上されているが、今年度も社会資本整備総合交付金事業として不採択となり、購入できなくなったようであるが、だいぶ老朽化している除雪機械を目にするが、今年度の除雪に支障はないのか伺う。

2 歳出8款2項3目 社会資本整備総合交付金事業費 △1億456万3千円について

- (1) このマイナス補正により、中止になる道路改良等の事業を伺う。
- (2) 社会資本整備総合交付金は、ここ数年に亘り、連続して1億円前後が不採択となっているが、事業単位での削減なのか、要求額全体からの削減なのか伺う。

【通告要旨】 議案第92号 令和4年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について

通告者 15番 高久昭二 委員

- 1 令和4年度に観光文化スポーツ部の文化財保護室で執行した予算中、伝健群地区以外の対象物件及び予算額について（指定公園、古城山城趾、芦名家武器庫等含む）
- 2 令和4年度に建設部で執行した予算の中で内川橋、横町橋にいくら予算を用途したのか。（内容内訳）また大瀬蔵野橋の完成後の利用状況等を見て、どのように評価、判断しているのか。
- 3 令和4年度に農林商工部の農業振興課で予算執行した中で、国県の補助、支援を含めどのくらいの用途があったのか。また農業団体（民間ファーム含む）にどのくらい補助、支援、貸与、譲渡したのか。

通告者 9番 平岡裕子 委員

- 1 歳出2款1項 職員研修費 報償費 81万円について
  - (1) 政策立案職員研修 12人の内容（講師・対象職員など）について伺う。
  - (2) 市独自に人材育成研修や政策立案研修を実施し能力向上を図ったという内容説明であるが、成果事例を伺う。
  - (3) 令和5年度の施策に反映している事項はあるか伺う。
- 2 歳出2款1項 生活バス路線対策費 生活バス路線等維持補助金 5,896万7千円について
  - (1) 補助対象とする民間バス会社への補助金額を伺う。
  - (2) 県補助金・一般財源共に決算額が前年度比で1,292万円増額になっている理由を伺う。
  - (3) 田沢湖・角館間のバス運行廃止を決定した時期はいつか。

通告者 7番 高橋輝彦 委員

1 令和4年度決算における経常収支比率について

決算説明資料を見ると、経常収支比率が前年度を5.2ポイントも上回る98.4%になっており、施策評価等での経費削減に取り組んでいるにも拘らず、自由に使えるお金が殆ど無く、財政が令和3年度より硬直化している状況にある。

しかしながら、決算状況を見ると市税は増えており、人件費及び扶助費の歳出減が地方交付税の減額分以上に効果があり、経常収支比率は前年度より下がるのではないかと思えるが、平成30年度から令和元年度の比率まで上がった要因を伺う。

2 歳出7款1項2目 企業誘致対策事業費について

(1) 令和4年度の企業誘致活動の内容を伺う。

(2) サテライトオフィスとしての誘致企業は2社が認定されているが、黒沢工業団地の今後の見通しについて伺う。

3 歳出10款6項2目 落合運動施設管理運営費の決算内訳を伺う。